

ELLE DECO



エル・デコ
10月号 OCTOBER
NO.92 2007

東京 デザイン 散歩。

欲しい家具の見つけ方から、
'50年代デザインの銀座BARまで。

2008



別冊付録
東京インテリアショップ
完全MAP

- ◆ 青山、目黒通り、銀座の最新マップ
- ◆ デザイナー別、逆引き店ガイド

いま買うべき、ソファ大研究!

[エル・デコ]は奇数月7日発売



5

Studio Laurens van Wieringen

スタジオ・ラウレンス・ファン・ウィーリングン

見た目の質感を裏切る、
ラバー製アイテムを楽しもう!

陶器に見えるけど、実はラバー製というランプを手に持つのは、デザイナーのラウレンス。左上の花器も同じラバー製で、こちらは小さな花畑を部屋に持つための「ミニチュアフラワーフィールドベース」。何個もつなげて、好きな花を好きなスタイルで飾るのが楽しい! 内装や家具なども含め、自由でやわらかな発想が彼のチャーム。

www.laurensvanwieringen.nl/



4

Sander Luske

サンダー・ルスケ

ポエティックな形と線、
手仕事を感じる陶器の魅力。

プロダクトデザイナーであるルスケは、ユニークなクラフト感とインダストリアルな感覚を併せ持つ人。形式的なものより自由な感覚を重んじる彼は、ワークショップでひとつひとつのプロトタイプを手で作ります。生まれ出る作品は一点一点が異なる表情を持ったピクニックセット、レモネードカップなど、日常を美しく彩ってくれるもの。

www.luske.nl/



3

Royal Tichelaar Makkum

ロイヤル・ティヘラー・マッカム

静かなるボーセリンが語る、
歴史とモダンデザイン

毎年サローネでは、オランダ最古の陶器ブランドがこんなに現代的になっている? というほど驚きの発表に定評があるマッカム。ヘラ・ヨングリウス、スタジオ・ジョブ、そして今年のディック・ファン・ホフ、と、デザイナーやアーティストの起用も魅力のひとつ。写真のトーマス・エイック氏はフリーでも活躍するデザイン界の仕掛け人!

www.tichelaar.nl/



10

Vlieger & Vandam

フリーガー&ファンダム

飛行機には乗れなさそうな、
凶器入りバッグ?!

犯罪が増加する現代社会で、人々の過剰な恐怖心を感じ、デザイナー夫婦が作った「ガーディアンエンジェルクラシック」シリーズ。フェルトの質感が心地よく、ナイフやピストルを表面にかたどったバッグは、凶器を持って安心した気分になる? バッグ。MoMAのパーマネントコレクションとしても販売されている。すべてのバッグはオランダ人らしいひねりが効いていて面白い!

www.vliegervandam.com/



9

Atelier Arnout Visser

アトリエ・アーノウト・フィッサー

素材の限界まで、
フォームを探し続ける男。

ガラス、陶器、プラスチック、金属、そして水までも素材として扱ってしまうデザイナー、フィッサー氏は「フォームファインダー(形を見つめる人)」でもある。手に持っているのは(左)、なんとも可愛らしいダック形の砂糖入れ。ガラスの作品はすべてリサイクルガラスを使用している。フィッサー氏によって見つけ出された、いろいろな素材のユニークなフォルムの数々を、発見しに行こう!

www.arnoutvisser.com/



8

Studio ePosh

スタジオ ePosh

テーブルクロスやスカーフが、
哲学や詩を語る。

家庭で使うエレガントな布小物をデザインするエレクトーティストである彼女は、社会に関連したテーマを布地で表現していく。宗教、家族関係、哲学、文学など、織り込まれている文字や文様はさまざまなことを語る。身につけているシルクのスカーフはコンピュータでデザインされ、クレパドチン紙にデジタル印刷されている。見るだけでなく、触れることで感じる価値もある作品。

www.studio-eposh.com/